

## 瑞浪駅周辺まちづくり基本方針【案】に対するご意見と市の考え方

- ・意見提出人数 11人（内訳 市内 11人、その他 0人）
- ・意見数 11件

いただいたご意見・情報について、市の考え方を次のとおり公表いたします。

番号	ご意見	市の考え方（修正内容）
1	<p>広報みずなみで瑞浪駅周辺の計画図を見ました。</p> <p>住所は釜戸町で最寄り駅も釜戸駅ですが、駅前駐車が砂利で使いにくいこともあって電車に乗るときは瑞浪駅裏駐車をよく利用します。</p> <p>駅裏にも改札口があれば便利なのに…とよく思っていたのでその点は良いと思います。ですが、計画図を見ると今の駅裏駐車場に図書館等の公共施設ができるようです。</p> <p>せっかく駅裏からも入れる改札口ができて駐車場から遠くなつてはかえって不便です。</p> <p>公共施設を駅近くにつくことも良いですが、車で来て駐車場に停めてからの駅利用も便利になるようにしていただきたいです。</p> <p>瑞浪駅裏の駐車場は安価に利用できることから恵那市民で利用される人もいます。</p> <p>どうか利用しやすい駅周辺になりますように。</p>	<p>駅北地区の事業については、新しい公共施設利用者だけでなく、駐車場利用者にとっても利便性が高くなるように計画していきます。</p> <p>新たな北口改札の位置や、改札までの動線については、今後JR東海との協議を行いながら、できるだけ多くの方が便利に使えるような施設を目指します。（現況図面との重ね合わせでは、駐車場東側入り口の大型看板付近までで建物が収まると想定しています。）</p>
2	<p>①社交ダンス（競技会大会もできる形式）ができる広間（絨毯はダメ）。規定を満足する広さの確保。着換室男女別々にする。</p> <p>②他、日舞・太鼓等の練習もできるように。部屋（ホール）の一面はミラーにし、不必要な時はカーテンか目隠し引戸等で隠せる。</p> <p>③認知症カフェとしても使用できる集会室か喫茶風、ソフトな雰囲気のある部屋。近くにオストメイト対応トイレが付設。ミニ図書館付。（おしゃべり可の設定で）</p> <p>小物作り、手先の作業が可能な部屋</p>	<p>ご希望される機能全てを完備することはできないと考えています。使用されるスペックがかなわない場合は、近隣施設等の利用を考えていただくことを想定しています。</p> <p>ホール・舞台等の設備や機能の詳細については、これまでの利用実態や、今後の利用について、皆様のご意見をお聞きし、導入費用・維持管理費用を含めて検討し、決定していきたいと考えています。</p> <p>なお、瑞浪市公共施設総合管理計画において、公共施設の集約再編をすることとしており、新しい複合公共施設についても、必要な機能は残</p>

		<p>し、利用頻度の低い施設は統廃合していくこととします。</p> <p>また、多くの方にとって、居心地が良く気軽に訪れ利用できるような施設を目指しており、バリアフリー・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施設としていきます。</p>
3	<p>①多目的ホールで文化活動が出来る様、音響を考慮していただきたいと思います。たとえば、地域交流センターときわには多目的ホールがありますが、じゅうたんが敷かれている為、生の音が響きません。</p> <p>クラシック音楽とは硬い表現かもしれませんが、合唱、楽器演奏も可能な多目的ホールであって欲しいです。</p> <p>②椅子は階段になるよう（出し入れ）願っています。</p>	<p>ホール・舞台等の設備や機能の詳細については、ご意見2の回答と同様です。</p> <p>客席に関しては、多様な利用ができるよう、ご意見にあるような、出し入れできる椅子（可動席）も検討しています。</p>
4	<p>ホール（400人程度）の設置…M J Cみずなみ児童合唱団としてこれからも地域で活動していく為。発表会や練習場所（鏡、レッスンバーあり）として利用したい。</p> <p>音響設備…ワイヤレスマイク（ヘッドセット型）、P C C</p> <p>照明設備…ムービング、LED、ピンスポット</p> <p>舞台設備…上手、下手のスペース、リノリウム、ピアノ、楽屋、紗幕、暗転幕</p> <p>現在、文化センターのリハーサル室を主な活動場所として利用しているため、同じような鏡とレッスンバー、ピアノがあるレッスン室を作っていただきたい。合唱の他に、バレエや芝居、ダンスレッスンを行う為、リノリウムが敷いてあったり音を流す機材が常設してあると嬉しいですし、さらに様々な団体も利用できると思う。</p> <p>現状、リハーサル室を予約するのに他団体も希望する頻度が多い為、予約できない日もある。その為、同じように活動できる部屋を複数作って欲しい。</p>	<p>ホール・舞台等の設備や機能の詳細については、ご意見2の回答と同様です。</p> <p>その他の貸室の規模や数についても、利用状況や皆さんのニーズを把握した上で、効率的に利用していただける施設を検討していきます。</p>

<p>5</p>	<p>まちづくり基本方針を読ませていただき、瑞浪市がこんな素敵な構想を持っていることを知りわくわくしました。</p> <p>寂れる一方の駅前、寂しさを感じ何とか改善策は無いのだろうかと思いましたが、このような方向に進んでいることに、希望が見えてきました。</p> <p>私たちの意見を求めて下さることに感謝します。</p> <p>大まかに思うことは、瑞浪市の良さを徹底的に話し合い、それが市民や他地域への広がり、活性化するために、どう伝え、つなげて、生かし、展開していくかということではないかと考えます。</p> <p>市の自然の豊かさ、のどかさは素晴らしい所だと思います。</p> <p>また、大湫宿、中仙道、竜吟の滝、桜堂、屏風山などの観光や、歌舞伎、文楽などの芸能、ゴルフ、バサラなど様々なものをどう広めてどこに焦点をおき、瑞浪のイメージアップとするとよいかを考えると良いのではないかと考えます。</p> <p>・駅前広場の公園を魅力ある所にする。四季折々の植栽を施し、自然に触れて市民が憩える雰囲気を作り、それを化石公園につなげていくような玄関口とする。</p> <p>こぶし、桜、花桃、ハナミズキ、さつき、アジサイ、楓等瑞浪らしさが表現できる木々を植え、木陰、ベンチ等で憩いの場となるようにする。</p> <p>陶芸のオブジェなどを置いても瑞浪らしいと思います。</p> <p>・また他の場所に於いて計画的に市民や他市の人たちも呼びこめるような名所作りする。(他では花桃の里、花フェスタなどもあります)</p> <p>駅から市役所へ通じる道路に街路樹としてハナミズキが植えられていてとても美しいが散歩道という感じではなくもったいない。</p>	<p>この基本方針によるまちづくりを行い、今の皆さんだけでなく、将来まちを利用する人達にとっても、魅力を感じてもらえるようなまちとしていきます。</p> <p>また、ご意見にあるように、瑞浪市の中心市街地として、瑞浪市の玄関口として、瑞浪の魅力を活かし、素晴らしさを発信できるようなまちとなるように計画していきます。</p> <p>特に北地区の複合公共施設には、化石や陶磁器等、瑞浪市の様々な魅力についての発信の場や、触れるきっかけになるような機能も検討しています。</p> <p>さらにこの施設が、まちづくりの拠点となるような仕組みも検討しています。</p> <p>今後も検討状況をお知らせしながら、皆様のご意見をお聞きし、まちづくりを進めていきます。</p>
----------	--	---

	<p>花が咲くころその場を活用したイベントや出店もあるとよい。</p> <p>ゆっくり歩いて季節の花々が楽しめ、人々が憩える雰囲気のある遊歩道作りができたらいいいのではないか。化石公園をそのように植栽豊かな名所とする等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅に案内所の機能を作り、壁面に観光マップやグルメマップを貼るなどしてインフォメーションできるようにする。QRコードで、スマホと連動し、分かりやすくする。</li> <li>・商業施設に瑞浪の名物店を集約する。五平餅、あきん亭ラーメン、加登屋、みわやなど駅前ですべられるようにする。グルメマップを配置する。</li> <li>・瑞浪市の持っている素材を生かす工夫を最大限行い、魅力あふれる街づくりをする。魅力ある面を見つけて聖地巡礼のように人々を集める。</li> </ul>	
6	<p>1 駅北地区</p> <p>駅北地区は、これまで駅裏と言われるようになりあまり注目されてきませんでしたので、新たに図書館などの文教施設が整備されれば、駅北地区が注目され、地域の期待は大きくなっていくかと思えます。</p> <p>これまで大学・高校、病院、郵便局等の民間運営による準公共施設の参画も検討されてきたようですが、結果として民間の参画はなくなり、公共施設だけとなりました。</p> <p>これは、民間ベースでは参画の意義が見いだせない(効果に対し採算が合わない)ため、市が整備の判断ができる税金投資による公共施設整備だけとなったと思えます。</p> <p>(1) 施設整備事業費について</p> <p>駅北地区は、公共事業形式で行われるようです。そうすると、用地補償費を含め建設費はすべて、市が負担することになります。国の財政支援も期待できますが、多くは市財源で整備することになります。</p> <p>今回示された事業計画では、心地よい言葉</p>	<p>我々も同様な考えで、駅北地区の事業に関しては、学校や郵便局等も検討・協議を行ってまいりましたが、費用と効果だけでなく、個別条件等の検討結果により現在の計画となりました。</p> <p>事業費については、国等の補助制度等を含め、今後計画の詳細を検討していく中でとりまとめ、皆さんに提示していきます。</p> <p>現在想定している事業では、事業費の2分の1が補助金、残り2分の1の90%に交付税措置のある起債が可能です。</p>

<p>や計画がちりばめられていますが、具体的にいくらかかりそうかが示されていません。</p> <p>区域内にマンションや工場もあり、大型補償必要となります。また、示された施設の建設規模から想像すると、数十億、場合によっては百億円に近付き、年間の市税収入を大きく超える事業費になるのでは想像していません。</p> <p>きれいごとだけでなく、概ねで良いので事業費を示していただかないと、事業実施の可否に意見が出せません。</p> <p>(2) 文教施設整備について</p> <p>現在の文化センター規模からダウンサイジングしたり、図書館にはこれまでにない付加価値を導入、居心地のよいカフェの設置等が計画されています。</p> <p>現在2億円程度の投資により文化センターの改修を進めていますがこの投資は何のためでしょうか。(改修完成後数年しか使用しないことになる)</p> <p>以前は、現文化センターにも喫茶店がありましたが、経営者が何回か代わってきました。その時々経営者は様々な取り組みをしてきたにもかかわらず、現在は入居者もなく空き家となっています。新しい箱ものを整備する駅北であれば、健全な経営できるのでしょうか疑問です。</p> <p>現施設は、デザイン性や耐震性もあるようです。この施設を時代にマッチングした施設に改修する選択はないのでしょうか。</p> <p>(3) 管理手法について</p> <p>管理手法にPPPやPFI(サービス提供型)等が記載されています。これは、図書館等の運営を民間のノウハウを持った業者(現在の指定管理とはまったく別物)に包括的に管理を任せるものと想像しています。(全国的にTSUTAYA等を導入する公共施設も出てきていますが、従前管理費の2倍程度になるようです)</p> <p>その際の想定される年間の委託料はどれ</p>	<p>現在の文化センター(中央公民館・図書館)は、建設後40年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいます。また、現代の利用ニーズに合わず、利用頻度が低い部屋があります。今後、複合集約化をすることで、現代のニーズに合わせ、使い易く、効率的に維持管理ができる施設に更新します。</p> <p>カフェについては、これまでの市民アンケート等の結果から、新しい複合公共施設への導入ニーズが多くありました。民間事業者のノウハウを活用し、多くの人に利用していただけるカフェを目指します。</p> <p>なお、実施中の文化センターの改修は、今後数年利用するために必要となる、ホール・ホワイエの吊り天井の耐震化等、法令や管理上行わなければならない最低限の内容です。</p> <p>施設運営については、市役所だけでなく民間事業者のノウハウを活用し、多くの方に満足していただけるような運営となるように検討していきます。</p> <p>事業費については、今後詳細な運営内容等を決定した上で、「現在の運営内容と事業費」と「新しい運営内容と事業費」を総合的に比較して決定していきます。</p>
--	---

<p>くらいを想定しているのか。現在の指定管理料と比較してどれくらい増えるのか示していただきたいと思います。</p> <p>(4) 全体的な意見</p> <p>今後、人口減少が進み、公共施設管理のあり方が大きな変革期に入っています。様々な問題がありますが、広域連携により周辺市が共同で、公共施設を管理する方向に移行していくようです。</p> <p>東濃中部病院もこの考え方が根底にあるかと思っています。今後もごみ処理施設、消防機能、上下水道等の公共サービスも具体的に動き出そうとしています。新たな公共施設整備(建て替え)は慎重な判断をしたほうが良いと思います。</p> <p>瑞浪市役所自体を建て替えではなく、大規模改修としている中、文教施設に巨費を投じて移転する発想が時代にマッチしていないと思います。</p> <p>現文化センターは、市の中心に立地して駅にも近い好立地です。移転に必要な事業費の何割かの投資により、時代に合った文教施設に改修したほうが良いと思います。</p> <p>2 駅南地区について</p> <p>(1) 再開発事業について</p> <p>駅南地区の再開発は、区画整理事業手法で行われるようです。土地や建物所有者の減歩と新たに確保した保留床が確実に売却できれば、岐阜市や多治見市のように高層化して事業費を捻出できますが、土地価格が低い瑞浪では、その手法は使えないようです。</p> <p>計画中に示されている、保留床の売却や、マンションやスーパー、コンビニ、飲食店の入居の見込みはあるのでしょうか。難しいようでしたら、その時点で区画整理事業手法による再開発は無理ではないかと思っています。</p> <p>(多くの市街地再開発では、計画が破綻して、保留床を市が買い上げ助けているケースが多いようです)</p>	<p>これからの行政運営においては、ご意見のとおり広域化が必要になってくる機能・施設があります。今回の計画においても、施設機能で開催できない大規模なイベント等については、他市の施設等を利用していくことを想定しています。</p> <p>また、公共施設に限らず、建築物は、修繕を続けられ、いつまでも使い続けることができる訳ではなく、いつかは寿命がきます。そこで、瑞浪市公共施設等総合管理計画では、大規模修繕を行い、延命して利用する施設と、集約・複合化して、時代にあった機能・規模に更新する施設について整理しています。その中で、現在の文化センター(中央公民館・図書館)は、複合化し更新することとしています。</p> <p>この基本方針では、市民ニーズや利便性、文教施設としての立地環境、施設の維持管理等を総合的に検討し、駅北地区に複合公共施設を整備することとしています。</p> <p>ご意見のとおり、市街地再開発事業では、保留床を売却し、主な事業費を賄います。売却を含めた保留床処分が目途が立たないうちは、市街地再開発事業に着手できません。</p> <p>現在、住居部分や商業部分について購入意向調査を行っています。</p>
---	--

<p>あまり夢を見ずに、個人施設の更新（リノベーション）に対する補助や、駅前広場等に限定した公共事業方式としたほうが現実的かと思います。</p> <p>（２）芝生広場やラウンドアバウト交差点計画について</p> <p>芝生広場ですが、本当に整備するのでしょうか。</p> <p>市道や公園の管理費が不足しているため、どこも十分な管理ができていません。特に周辺部は顕著です。市の顔となる駅前に芝生広場を整備すれば常に管理しなければなりません。どのような手法で管理するのか。管理費用はどうするのか、大いに疑問があります。通常の舗装やタイル舗装とすべきだと思います。</p> <p>ラウンドアバウト交差点は、全国で導入事例が増えてきていますが、多くは郊外の比較的交通量の少ない箇所に設置されます。歩行者の移動距離が長くなること、交差点自体が大きくなること、ピークの交通量が多い市街地部の交差点ではかえって渋滞を助長すること等、ここには馴染まないと思います。通常の信号交差点とすべきと考えます。</p> <p>（３）歩きやすい歩道について</p> <p>人と車が共存する歩きやすい道路を目指そうですが、道路の拡幅は計画されているのでしょうか。</p> <p>歩道を広げないと、今より歩きやすい道路とならないと思います。その場合車道を狭めるのですか。道路全体を拡幅しないのであれば、どのようにして歩きやすい道路を実現するのでしょうか。具体論が見えません。</p> <p>（４）駅北口改札の新設について</p> <p>駅北口改札は、だれの費用で整備して、どれぐらいの事業費を想定しているのでしょうか。また、設置後の管理費はだれが負担するのでしょうか。（現実的にはJRでなく、市の負担で整備し、将来的にも市が管理費を負担することになると思います。）</p>	<p>駅前広場の詳細については、まだ決定していませんが、緑化や舗装方法については、維持管理の費用や手間を考慮した上で、駅前広場に相応しいデザインを決定していきます。</p> <p>駅前広場出口の交差点については、令和４年度中に、交通量調査を行った上で、最適な交差点形状を決定していくこととしています。</p> <p>市街地再開発事業は面整備であるため、道路以外のオープンスペースも創出することが出来ます。道路の拡幅に限らず、総合的に今より歩きやすい歩行空間を計画していきます。</p> <p>駅北口改札の新設や維持管理については、他事例を参考にしつつ、JR東海との協議により、詳細を決定していきます。初期費用だけでなく、維持管理費用についても検証し、瑞浪市による投資が妥当か判断していきます。</p>
---	--

	<p>市が負担することになるとしたら、市による投資が妥当か示してほしいと思います。</p>	
7	<p>基本的には賛成で、住民にとっても快適なものになると期待していますが、電車を利用する方にとっては不便な点もあると思います。名古屋市地下鉄にまで移住呼び掛けの広告を出している今、電車利用者への配慮は必要だと思います。</p> <p>(1) 迎えに来た車が待つ場所が少なく、高校生を迎えに来る時間から始まるので、結構長い時間にわたって駅前が渋滞しています。</p> <p>今の駅前広場はいったん整備した後で、駐車スペースを広げる作業をしています。広場整備の前の住民説明会で指摘されたのに原案のままです。</p> <p>(2) 改札口から駅北駐車場への移動距離が長い。整備案では現駐車場の一部を使って公共施設をつくることになっているので、今よりもさらに移動距離が長くなります。北口改札口が出来れば改善されるでしょうが「検討する」という段階なので、ずいぶん先になると思われます。</p> <p>駅西自転車置き場か跨線橋を設け、直接駐車場に入る歩道を設けていただきたい。</p>	<p>ご意見のとおり、駅・電車利用者の方の利便性にも配慮した検討を行います。</p> <p>駅周辺の混雑を解消するため、令和4年度中に、交通量調査・交差点等交通シミュレーションを実施し、最適な交通処理計画・必要な駐車容量を検討し、まちづくりに反映していきます。</p> <p>しかしながら、限られた区域での配置となりますので、現在の不満点が全て解消できることはないと考えており、利用者の皆様にも利用方法でご協力を仰ぐこととなります。</p> <p>また、北口改札の新設については、複合施設と同時期に整備できるよう、JR東海と協議を行っていきます。</p>
8	<p>【1】「駅南地区市街地再開発事業」について</p> <p>都市にはハレの空間とケの空間があります。図書館や文化施設、大型商業施設はハレの空間であり、広場や広い道路で区画され意匠性の高い建築で構成されます。一方で日常生活を営む住宅や小規模店舗はケの空間であり、実用的で住む人々の価値観や人間性が反映された自然発生的な空間で、狭い路地や小さな建物によって構成されます。町の文化はその町に住む人々の生活のなかで様々な価値観が絡み合って生まれくるものなので、人々の生活する空間、すなわちケの空間が文化をはぐくむものであり、それが街の魅力となります。</p> <p>今回の瑞浪駅周辺まちづくり全体像を見</p>	<p>瑞浪駅周辺は整備されてから、40年以上経過し、建物の老朽化、住民の高齢化、空き店舗空き家の増加等の影響から、かつての賑わいが失われつつあります。この基本方針では、瑞浪市の中心市街地として、玄関口として、緑があるオープンスペースや、人と車が共存するウォークラブルなまちを整備することで、住んでいる人だけでなく、訪れる人や、駅を利用する人にとっても、魅力があり便利なまちとなることを目指しています。</p> <p>新しいまちでは、これらの人々との交流・暮らしの中で、新しい文化や魅力が生み出されることを期待しています。</p>

<p>ますと、駅前がオープンスペースと大きな交差点で構成されたハレの空間でありながら、住宅と小規模な商業施設の入ったケの空間が配置されており、少々不自然な構成となっております。大きな都市の駅前は町の顔としてハレの空間として計画されますが、瑞浪駅前は小規模で地元の人たちが肩を寄せ合っ て暮らす空間なので、あくまでもケの空間としてもう少し狭いスペースを組み合わせ て計画すべきではないでしょうか。七夕やバサラというイベントも大切ですがそれらは公園とおりを中心に計画し、駅前空間は生活の場として小規模な建物や路地を生かした空間構成を行うべきではないでしょうか。</p> <p>【2】「駅北地区複合公共施設」について 駅の北側に図書館等の公共複合施設を作るということですが、先ほどのコメントでも述べたように、このような施設はハレの空間を構成するものです。今更ですが、瑞浪の町の構成としては駅の南側の方が多くの市民がアクセスしやすい地域であり、人口の分布を考えても駅の南側の方が多くの人 が利用する施設を設置するには適しており、文化施設はあくまでも駅の南側にあった方が利便性が高く、また駅前の再開発と相乗効果を狙うことができます。</p> <p>ただ今回は北側に文化施設を設置することは決まっているようですし、さきに述べたように駅 前をケの空間として計画するならば、駅の北側を東濃地域のサードプレイスとしてハレの空間として考えてはいかがでしょうか、そのためには、ロータリーの拡充程度でお茶を濁すのではなく、広い広場や車道と歩道がしっかり設計された広い道路の計画が求められると思います。</p> <p>【3】コンセプト「未来の子どもたちに渡せる町」について 大変良いコンセプトだと思います。ただし</p>	<p>新しい複合公共施設については、施設規模や利用者の駐車場等を考慮し、駅北地区に整備する計画としています。駅北地区と駅南地区は、今ある地下自由通路を改良することで、地区間の連携を図っていくことを目指しています。</p> <p>また、「市民や東濃地域のサードプレイス」となるには、ご意見のとおり、歩道や広場等の建物周辺のデザインも重要になってきます。今後、施設の具体的な設計を進めていく上では、建物周辺も含めた、広いエリアを対象に詳細を計画していきます。</p> <p>今回のまちづくりにおいては、整備した建物</p>
---	---

	<p>その町というのが利便性の高い駅前広場だとか事業性の高い再開発ビルを指しているとは思えません。子どもたちに渡すべきものは歴史や文化の温かみを感じる情緒的な駅前の風景ではないでしょうか。情緒的なものを描くことは難しいと思いますが、駅前の空間がどのような空間であればよいか、文学や哲学の言葉を用いて情緒的に語って頂くことを提案します。</p> <p>【4】その他</p> <p>故郷のよさというものは故郷を離れた時に実感することがあります。私自身、故郷を離れて都会で暮らしているときこそ、瑞浪の風景、土岐川や屏風山、西に山に沈む夕日を思い出しておりました。時には陶器の窯の温かさや工場のおいを思い出すこともありました。いまでも瑞浪市で生まれ育ちながら、進学、就職などで瑞浪を離れている方が多くいらっしゃいますし、そのうちのいくらかの人はいずれ瑞浪に帰ろうと考えていらっしゃいます。そういう方の意見は聞いていますでしょうか。その中に瑞浪が本来大切にしなければならぬものがあるかもしれません。ぜひ参考にさせていただきたいと思います。(すでに行われておりましたら、すみません。)</p>	<p>や広場等の施設だけを渡すのではなく、このまちで活動したい・住みたいといった気持ちを抱いてくれるまちとなるように、新たな魅力の創出や活性化を目的としています。</p> <p>ご意見のとおり、これまでのまちの歴史や文化も非常に大切であるため、それらを踏まえ、感じてもらえるような事業となるように、取組んでいきます。</p> <p>今後も、まちづくりに関する積極的な情報発信と、パブリックコメントや社会実験、アンケート等を行い、市民の皆さんのご意見を参考に、市外の方の視点でも検討を行い、事業に反映していきます。</p>
9	<p>駅北に予定されてます400人程度を収容可能な多目的ホールについて</p> <p>瑞浪市文化協会には26団体の登録があり、芸能部、合唱部、美術工芸部、生活文化部と様々な活動を行っています。</p> <p>つきましては、多目的ホールにおける舞台装置について、様々な利用に対応できるよう舞台の昇降機能などを取り入れた、多目的に活用できるホールとなることを望みます。</p>	<p>ホール・舞台等の設備や機能の詳細については、ご意見2の回答と同様です。ご意見のとおり、多目的で、多くの方に利用していただけるような施設を検討していきます。</p>

10	<p>若者に主眼の置かれた方針（案）となっています。それも大事だと思いますが、高齢化が進んでいる瑞浪市の高齢者の居場所となるような配慮もお願いします。</p> <p>周りを気にせず音楽が楽しめるような防音の部屋と、気軽に発表できるような空間があると良いと思います。ホールには反響板の設置を望みます。</p>	<p>新しいまちづくりは、多世代が交流できるような場所や施設となるように計画をしています。若者だけでなく、働く世代、高齢者等の全ての世代にとって魅力あるまちとなることを目指しています。</p> <p>音楽・文化活動についての空間・機器・設備面は、利用実績や今後の活用方法等、みなさまのご意見を聞く中で総合的に判断します。</p>
11	<p>いまだにコロナ禍で、思うような活動が出来ない状況下です。</p> <p>この度、「美濃のやま」「あの土岐この土岐陶器音頭」が全国にDAM配信されることとなりました。</p> <p>「美濃のやま」は、地元の里山環境を感じていただく楽曲。「あの土岐この土岐陶器音頭」は、陶器及び地域グルメのPRソングであります。</p> <p>多くの方に歌ったり、知っていただいたりする趣旨です。また、青少年育成・地元の街づくりに繋がる活動をしていきたいと考えています。</p> <p>コロナ禍での注意をしながら、各イベントや歌謡祭などを含めボランティア活動を行っていきたいと思っております。</p> <p>皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。</p>	<p>「未来の子どもたちに渡せるまち」をコンセプトとし、どの世代も交流でき、憩える空間・場所を目指しています。北地区の複合公共施設には、市民活動の発表ができるホール機能等を整備し、様々な目的で訪れた方々が、各グループの活動を見たり、触れたりすることで、市民活動への参加や、活性化につながると考えています。</p>